

施策評価表の記載事項

1. 基本情報

- ▼ 総合計画体系（基本目標、施策）
総合計画での位置づけを記載しています。
- ▼ 施策統括課
当該施策を統括する課名を記載しています。
- ▼ 関係課
当該施策に関係する課名を記載しています。

2. 施策の成果指標の達成度

施策の目指す姿の達成度をはかるために、実施年度の目標値に対して実績値がどうであったかの判定結果を記載しています。

判定

a	目標を達成している
b	目標をわずかに達成していない
c	目標を達成していない
-	実績値がなく、判定できない

3. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

総合計画に掲げる町が取り組むべきことごとに、その実施状況と今後の方向性を記載しています。

- ▼ 主な取り組み状況
実施年度に実施した具体的な取組内容（実施計画等の主な事務事業の取組や成果）を記載しています。
- ▼ 課題
取り組みを進めていくにあたっての課題を記載しています。
- ▼ 翌々年度（次期予算編成）の取り組み方針
翌々年度（次期予算編成）に取り組むべき内容について、「主な取り組み状況」や「課題」から、伸ばすべき成果や課題への対策などを記載しています。
- ▼ 町が取り組むべきことの達成状況
実施年度の成果指標の結果や取り組み状況などを鑑みて、達成状況を記載しています。

▼構成する事務事業(評価対象事務事業のみ)

①事務事業の内容

「事務事業名」「事業概要」「担当課」「会計区分」「事務事業評価(転記)」の事務事業評価の内容を記載しています。また、新規事業の立案等がある場合は、その内容を記載しています。

②施策評価での事務事業優先度

「事務事業の内容」や「施策の成果指標の達成状況」などを勘案して、「町が取り組むべきこと」または「施策」を構成する事業間における「優先度」を記載しています。実施年度をもって終了・廃止となった事業については、記載しません。

優先度

◎	最優先事務事業	予算最優先配分
○	優先事務事業	予算優先配分
—	維持事務事業	予算配分前年度踏襲
△	非優先事務事業	予算非優先配分
▲	縮小・廃止事務事業	予算減配・ゼロ

③施策評価での方向性

施策評価での今後の事業の方向性を記載しています。

事業の方向性

S	新規事業
A	成果拡充・費用拡大
B	成果拡充・費用維持
C	成果拡充・費用縮小
D	成果・費用とも維持
E	成果維持・費用縮小
F	成果・費用とも縮小
G	終了廃止

▼町が取り組むべきことを構成する事業の方向性

スクラップ(縮小・廃止)&ビルド(新規・拡大)を行う事業を記載しています。

①新規事業の方向性

事務事業を追加する場合に具体的な内容を記載しています。

②拡大事業の方向性

既存の事務事業で、取り組みを拡大・強化する場合に具体的な内容を記載しています。

③廃止事業の方向性

既存事務事業を廃止する場合に具体的な内容を記載しています。

④縮小事業の方向性

既存事務事業で、取り組みを縮小する場合に具体的な内容を記載しています。

▼翌々年度(次期予算編成)の町が取り組むべきことの方向性

施策評価の結果や町民意識調査結果等をもとに、町が取り組むべきことの方向性を記載しています。

方向性基準

最優先	予算の優先的・重点的な配分により事業を最適化し、施策の成果や住民満足度を向上させる取組
優先	「最優先」に次ぎ、施策の成果や住民満足度の向上を目指す取組
維持	現状の予算で現状の成果を維持または向上を目指す取組

4. 施策の総括と今後の展開

全ての成果指標の判定結果や「町が取り組むべきことの実施状況と方向性」を総合的に勘案し、施策の総括を記載しています。また、施策を進めていくために、優先的に取り組む内容などを中心に施策の今後の全体的な展開を記載しています。

5. 施策の進行状況

「町が取り組むべきことの実施状況と方向性」や「施策の総括と今後の展開」などを勘案し、施策の進行状況の評価を記載しています。